



# 平成 18 年度 京都大学防災研究所研究発表講演会 プログラム

開催日：平成 19 年 3 月 5 日(月)～6 日(火)

場 所：京都テルサ 京都市南区東九条下殿田町 70 番地  
JR 京都駅から南へ徒歩 10 分

## 平成 19 年 3 月 5 日(月)

開会の辞	9:20 - 9:25	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
特別講演	9:25 - 12:40	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
災害調査報告	14:00 - 15:00	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
ゲスト講演	15:00 - 15:30	A 会場 [第 1 会議室] (3 階)
一般講演	15:40 - 19:10	

A 会場 [第 1 会議室]	B 会場 [第 1・2 セミナー室]	C 会場 [第 3 セミナー室]	D 会場 [中会議室]	E 会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(I)	地震・火山(II)	地 盤(I)	大気・水(I)	総合防災(I)

## 平成 19 年 3 月 6 日(火)

一般講演 9:20 - 11:35

A 会場 [第 1 会議室]	B 会場 [第 1・2 セミナー室]	C 会場 [第 3 セミナー室]	D 会場 [中会議室]	E 会場 [視聴覚研修室]
21 世紀 COE(I)	21 世紀 COE(II)	大気・水(II)	大気・水(III)	総合防災(II)

一般講演 14:00 - 17:00

A 会場 [第 1 会議室]	B 会場 [第 1・2 セミナー室]	C 会場 [第 3 セミナー室]	D 会場 [中会議室]	E 会場 [視聴覚研修室]
地震・火山(III)	地震・火山(IV)	地 盤(II)	大気・水(IV)	総合防災(III)

ポスターセッション 9:00 - 17:00 A・B・C 会議室 (3 階)

ポスターセッション発表は 11:30 - 14:00

# 京都テルサ（A会場）

平成19年3月5日（月）

9:20	開会の辞	所長 河田 惠昭
特別講演	9:25 - 12:40	
9:25	震源を観る Observations of earthquake sources	教授 梅田 康弘
10:10	地すべりダイナミクス的发展 Progress of landslide dynamics	教授 佐々 恭二
10:55	( 休 憩 )	
11:10	海岸災害と港湾水工学に関する私の研究活動を振り返って Review of research on coastal disasters and harbor hydraulics	教授 高山 知司
11:55	水文学から水資源研究へ Progressing in water resources research	教授 池淵 周一
災害調査報告	14:00 - 15:00	
14:00	The July 17, 2006 West Java earthquake and tsunami 2006年7月17日西ジャワ地震と津波	教授 James Mori
14:20	2006年2月フィリピン・レイテ島地滑り災害における社会的対応 Social responses and recovery processes in the 2006 landslide disaster in southern Leyte, Philippine	助教授 矢守 克也
14:40	平成18年7月豪雨による九州南部の水害 Flood disasters in southern Kyushu caused by the heavy rainfall in July 2006	助教授 川池 健司
ゲスト講演	15:00 - 15:30	
15:00	砂防の動向とそれに対する科学的技術的支援 Scientific and technical support to SABO works	京都大学大学院農学研究科教授 水山 高久

# 一 般 講 演

## 地震・火山 (I)

### A会場〔第1会議室〕

- 15:40 A01. 大阪盆地北東部の脈動による地盤震動特性と重力基盤構造との関係について  
○赤松純平・中村佳重郎・西村敬一・駒澤正夫
- 15:55 A02. 大阪盆地—京都盆地境界附近の重力基盤構造について  
○中村佳重郎・西村敬一・駒澤正夫・赤松純平
- 16:10 A03. 強震動評価と震度分布情報を用いた1891年濃尾地震の震源モデルに関する考察  
○栗山雅之・岩田知孝・隈元 崇
- 16:25 A04. ウェーブレット変換を用いた広帯域震源インバージョン手法の開発  
○鈴木 亘・岩田知孝
- 16:40 A05. 2003年5月26日宮城県沖の地震(Mw7.0)の広帯域震源インバージョン  
○浅野公之・岩田知孝
- 16:55 A06. 2006年5月ジャワ島中部地震の有限断層モデル  
○岩田知孝・青井 真・井上 公・P. Harjadi
- 17:10 ( 休 憩 )
- 17:25 A07. 断層近傍のデータから推定したすべり弱化距離  
○福山英一・三雲 健
- 17:40 A08. 紀伊半島～近畿北部地域におけるレシーバ関数イメージ  
○澁谷拓郎・伊藤 潔・大見士朗・西村和浩・中尾節郎  
山崎友也・平野憲雄・加茂正人・小河和雄・平原和朗
- 17:55 A09. 近畿地方における地殻および上部マンツルの構造と地震活動  
○伊藤 潔・廣瀬一聖・澁谷拓郎・片尾 浩・梅田康弘・佐藤比呂志  
平田 直・伊藤谷生・阿部 進・川中 卓・井川 猛
- 18:10 A10. 近畿圏活断層の深部構造モデルと三次元地殻構造モデルの作成  
○西上欽也・伊藤 潔・片尾 浩・澁谷拓郎・大見士朗・儘田 豊・桑原保人
- 18:25 A11. 近畿地方北部の地殻活動 ～ GPS による歪速度変化と地震活動～  
○大谷文夫・片尾 浩
- 18:40 A12. 紀伊半島北西部における地震波速度の異方性と地質構造  
○松波孝治・中村正夫
- 18:55 A13. 考古学の遺跡で発見された液状化現象の痕跡  
寒川 旭

# 一 般 講 演

## 地震・火山(Ⅱ)

### B会場〔第1・2セミナー室〕

- 15:40 B01. だいち衛星のレーダーを用いた地殻変動検出とモデリング：ハワイ島キラウエア火山  
福島 洋
- 15:55 B02. 2006年の口永良部島火山活動  
○井口正人・為栗 健・斎藤英二・石原和弘
- 16:10 B03. 火山ガス観測からみた口永良部島の活動状況  
○平林順一・野上健治・大島弘光・井口正人
- 16:25 B04. 口永良部火山の重力異常  
○駒澤正夫・中村佳重郎・山本圭吾・井口正人・赤松純平
- 16:40 B05. 口永良部島火山における低周波地震のモーメントテンソル解析  
○為栗 健・井口正人・Hetty Triastuty
- 16:55 B06. Hypocenters and source mechanisms of volcanic earthquakes at Kuchinoerabujima Volcano - high-frequency, low-frequency and monochromatic events -  
○Hetty Triastuty・Masato Iguchi・Takeshi Tameguri
- 17:10 ( 休 憩 )
- 17:25 B07. 阿蘇火山・火口湖における水温・水深の変動解析  
○寺田暁彦・橋本武志・佐々木寿・鍵山恒臣・田中良和
- 17:40 B08. 阿蘇火山中岳周辺の浅部比抵抗構造(2)  
○神田 径・田中良和・宇津木充・高倉伸一・橋本武志・井上寛之
- 17:55 B09. 繰り返し空中磁気測量による火山性磁場変化検出の試み  
○宇津木充・田中良和・鍵山恒臣・神田 径
- 18:10 B10. 履歴減衰と粘性減衰を有する制震建物の地震応答性状とエネルギー授受  
○白山敦子・鈴木祥之・山下忠道・井上 豊
- 18:25 B11. 静的載荷実験による鋼製ベースプレートと基礎モルタル間の静止摩擦係数評価  
○池永昌容・長江拓也・中島正愛・吹田啓一郎
- 18:40 B12. Shake table test to evaluate the dynamic friction coefficient between a steel base plate and a mortar base  
○J.McCormick・T.Nagae・M.Ikenaga・H.Aburano  
M.Katsuo・P.Zhang・M.Nakashima

# 一 般 講 演

## 地 盤 ( I )

### C会場〔第3セミナー室〕

- 15:40 C01. 航空レーザ測量データを用いた地形特性及び崩壊地形解析  
－花崗岩地域、泥岩地域を例として－  
○土志田正二・千木良雅弘・中村 剛
- 15:55 C02. 風化帯構造及び風化様式に及ぼす岩石組織の影響と、その評価のための定量的  
解析法  
○戸邊勇人・千木良雅弘
- 16:10 C03. 2004年集中豪雨により愛媛県新居浜市で発生した斜面崩壊地の地質・地形学的  
研究  
○松澤 真・千木良雅弘
- 16:25 C04. 2004年台風21号豪雨で発生した香川県西讃地域の斜面崩壊の地質・地形的特徴  
○西山賢一・廣田 甫・岡田憲治・千木良雅弘
- 16:40 C05. The relationship between rainfalls and landslides in Shirasu area of Kagoshima, Japan  
○Mika Yamao・Roy C. Sidle・Takashi Gomi
- 16:55 ( 休 憩 )
- 17:10 C06. 豪雨による崩壊発生の位置予測 －出水、水俣、宮川の事例から－  
齊藤隆志
- 17:25 C07. 降雨が誘因となって起きる岩屑なだれの特性  
○諏訪 浩・中屋志郎
- 17:40 C08. Rainfall-induced sliding in 2-layered soil slope models  
○Ekaterina Georgieva・Gonghui Wang・Kyoji Sassa・Hiroshi Fukuoka
- 17:55 C09. 徳島県那賀町白石地すべり地区の蛇紋岩のせん断挙動について  
○王 功輝・末峯 章・佐々恭二
- 15:00 C10. 動的遠心模型実験における拡張型相似則の検証  
○飛田哲男・井合 進・西田一磨

## 一 般 講 演

### 大気・水 (I)

#### D会場〔中会議室〕

- 15:40 D01. 水中に没した円柱周辺の河床変動について  
武藤裕則
- 15:55 D02. 円筒型タンクのスロッシング防止ダンパーに関する実験と数値解析  
○米山 望・澤田純男・高島大輔・三浦正博
- 16:10 D03. 有限領域のダム破壊流れによる流動性材料の物性値評価法  
How Tion Puay・○細田 尚
- 16:25 D04. 水制周辺の局所洗掘に関する数値解析  
○音田慎一郎・細田 尚・岩田道明・石橋良純
- 16:40 D05. 大規模な氾濫を伴う山地河川の水害の実験的研究  
○上野鉄男・石垣泰輔・服部和彦・山田 聡・川中龍児
- 16:55 D06. ブラントス川の支川レスティ川流域における降雨・土砂流出に関する研究  
○中川 一・里深好文・大石 哲・武藤裕則・佐山敬洋  
寶 馨・シャルマ ラジハリ
- 17:10 ( 休 憩 )
- 17:25 D07. 練馬豪雨に対して都市環境が与える影響の評価  
伊藤洋太郎・茂木耕作・相馬一義・田中賢治・○池淵周一
- 17:40 D08. EnKFによるドップラーレーダー情報の同化手法の開発と概念モデルを用いた降雨予測  
○山口弘誠・中北英一
- 17:55 D09. 浸食過程を考慮した模擬流域発生手法と流域地形量 - 降雨・流出特性に関する基礎的研究  
○中北英一・松田周吾
- 18:10 D10. 北タイメーワン流域の流出予測精度向上に対する地球観測データの有効性の検討  
中西健一郎・○田中賢治・小森大輔・沖 大幹・池淵周一
- 18:25 D11. CGCM出力のダウンスケーリングに基づく流域降水量の変動推定  
○小林 孝・小尻利治・野沢 徹

# 一 般 講 演

## 総合防災 (I)

### E会場〔視聴覚研修室〕

- 15:40 E01. ライフラインの機能損傷が及ぼす経済被害の計量化に関する研究  
○多々納裕一・土屋 哲・梶谷義雄
- 15:55 E02. 世帯の復旧資金の調達と流動性制約  
○大西正光・伊藤弘之・関川裕己
- 16:10 E03. Optimal combination of international and intertemporal diversification of disaster risk:  
role of government  
○Tao Ye・Muneta Yokomatsu・Norio Okada
- 16:25 E04. 地域計画と治水計画の連携における問題抽出と連携のための方向性に関する検討  
○古市佐絵子・立川康人・寶 馨
- 16:40 E05. 伝統木造住宅の耐震性能評価法と耐震補強方法に関する研究  
○須田 達・岡村雅克・鈴木祥之
- 16:55 ( 休 憩 )
- 17:10 E06. Conflict over displacement, resource rights and survival risk- a case study on the  
Rajaji National Park, India  
○Suman Ranjan Sensarma・Norio Okada
- 17:25 E07. 防災・減災活動における地域間交流と世代間交流の重要性  
矢守克也
- 17:40 E08. コミュニカティブ・サーベイ手法によるリスクコミュニケーション  
○竹内裕希子・Xu Wei・梶谷義雄・岡田憲夫
- 17:55 E09. Measuring community resilience  
○Robert Bajek・Norio Okada

# 一 般 講 演

## 21世紀 COE (I)

### A会場〔第1会議室〕

- 9:20 A14. 熱水流動を考慮した火山地磁気効果の数値シミュレーション  
○大久保綾子・神田 径・石原和弘
- 9:35 A15. 火山情報と自治体の防災対応：2006年6月桜島噴火の例  
石原和弘
- 9:50 A16. 熱赤外カメラとビデオカメラによる 2006年桜島昭和火口周辺の火山活動モニタリング  
○横尾亮彦・石原和弘
- 10:05 A17. キネマティックGPSを用いた異常地殻変動検出手法の開発  
○佐藤一敏・橋本 学・細 善信
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 A18. 自治体の地震防災に有用な地震情報とその伝達手法の研究 (4)  
○渡辺邦彦・野口竜也・平野憲雄・小田由香・橋本 学
- 10:50 A19. 都市と周辺地域における地盤災害予測とハザードマッピングに関する研究  
-COE 最終報告-  
○千木良雅弘・井合 進・Roy C. Sidle・諏訪 浩  
釜井俊孝・三村 衛・飛田哲男・斉藤隆志
- 11:05 A20. Motion and deformation mechanism of landslides triggered by impoundment in Three Gorges  
○Fawu Wang・Gonghui Wang・Kyoji Sassa・Kiminori Araiba  
Yeming Zhang・Zhitao Huo
- 11:20 A21. Landslide risk evaluation: The mechanical properties of soils sheared undrained in a ring shear apparatus  
○Ogbonnaya Igwe・Kyoji Sassa・Hiroshi Fukuoka



# 一 般 講 演

## 21世紀 COE(Ⅱ)

### B会場〔第1・2セミナー室〕

- 9:20 B13. 山地・河川・海岸系における物質動態に関する研究 (第4報)  
○関口秀雄・中川 一・澤田豊明・林 泰一・川池健司  
上野鉄男・武藤裕則・馬場康之・芹澤重厚
- 9:35 B14. 源頭溪流の河道土砂、ハビタット構造に対する土石流の影響  
○小林草平・竹門康弘
- 9:50 B15. Studies of high resolution morphodynamics and floodplain sedimentary environments  
○東 良慶・関口秀雄・小野 徹
- 10:05 B16. 海浜堆積物の定方位採取と堆積物から探る海浜地形の形成過程  
原口 強
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 B17. ストーム時に発生する長周期波によってできる堆積構造に関する円形水路実験  
○高川智博・増田富士雄
- 10:50 B18. エアロゾルの化学組成、粒径分布を考慮した雲微物理モデルの開発  
○梶野瑞王・石川裕彦・植田洋匡
- 11:05 B19. Disaster risk communication and evacuation behavior analysis in Typhoon No.14,  
2005 - based on the post-disaster field survey  
○Chao Zhang・Norio Okada・Muneta Yokomatsu
- 11:20 B20. 印刷物・映像情報の電子ファイル化とWeb上で高速検索可能なシステムの  
構築 (4)  
○松浦秀起・辰己賢一・吉田義則・三浦 勉  
高山鐵朗・和田博夫・平野憲雄

## 一 般 講 演

### 大気・水(Ⅱ)

#### C会場〔第3セミナー室〕

- 9:20 C11. 深泥池における水・熱収支に関する研究  
○田崎紘平・田中賢治・嶋村鉄也・竹門康弘・池淵周一
- 9:35 C12. 深泥池における水質の空間分布特性とその成立要因  
○嶋村鉄也・尾坂兼一・伊藤雅之・竹門康弘
- 9:50 C13. 鴨川における河川水と地下水間の水・物質循環の解明  
○川久保愛太・城戸由能・井口貴正・田中幸夫・中北英一
- 10:05 C14. 日本における土壌水分量分布推定とそれが夏季の熱雷に与える影響の検討  
○相馬一義・田中賢治・中北英一・池淵周一
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 C15. 増水低減過程における微細土砂、粒状有機物、底生動物の河床分布動態  
○竹門康弘・今井義仁・高津文人・永田 俊・池淵周一
- 10:50 C16. 堰堤で仕切られた都市河川の魚類相と生息場の特性  
○石田裕子・中林真人・竹門康弘・萩原良己・池淵周一
- 11:05 C17. 地元住民から見た鴨川流域環境評価  
○萩原良己・萩原清子・松島敏和・柴田 翔
- 11:20 C18. 自然と共生する流域圏・都市再生シナリオに関する考察  
○吉川勝秀・福成孝三

# 一 般 講 演

大気・水 (Ⅲ)

D会場〔中会議室〕

- 9:20 D12. 信頼性解析に基づく越波流量に及ぼす要因影響評価  
○間瀬 肇・高橋真弘・安田誠宏・Maria T. Reis・Terry S. Hedges
- 9:35 D13. 津波のソリトン分裂過程に関する実験結果と数値解との比較研究  
○加次淳一郎・間瀬 肇・安田誠宏・高山知司
- 9:50 D14. 沖合観測情報を用いた逆解析手法によるリアルタイム津波予測  
○安田誠宏・高山知司・川村健太
- 10:05 D15. Effect of large tidal variation on storm surge in the coast sea of western Korea  
○Sooyoul Kim・Tomotsuka Takayama・Tomohiro Yasuda
- 10:20 D16. Coastal groundwater dynamics in a sandy beach  
○Kriyo Sambodho・Ryoukei Azuma・Hideo Sekiguchi
- 10:35 ( 休 憩 )
- 10:50 D17. 均質化理論に基づくアップスケーリングの水文学的適用法  
○浜口俊雄・小尻利治・Mohamed Sabel
- 11:05 D18. 事例ベースモデルと分布型流出モデルを併用した河川流量予測  
○小尻利治・原山和也・田中賢治・浜口俊雄
- 11:20 D19. 全流域を考慮した表流水と地下水の連携シミュレーション  
○Sina Nasouhi・Toshio Hamaguchi・Toshiharu Kojiri

# 一 般 講 演

## 総合防災（Ⅱ）

### E会場〔視聴覚研修室〕

- 9:20 E10. 昭和の南海地震の教訓を生かす  
河田恵昭
- 9:35 E11. Managing early warning systems for tsunami prone communities: the need for participatory approach  
○Saut Sagala・Norio Okada
- 9:50 E12. A model for disaster shelter planning from the viewpoint of local people—a case of Nagata Ward in Kobe City, Hyogo Prefecture, Japan  
○Wei Xu・Yukiko Takeuchi・Yoshio Kajitani・Norio Okada
- 10:05 E13. ゆっくりとした地殻変動が津波に及ぼす影響  
○奥村与志弘・河田恵昭
- 10:20 ( 休 憩 )
- 10:35 E14. Multi-agent based collaborative modeling for flood evacuation planning--case study of Nagata, Kobe  
○Yuling Liu・Yukiko Takeuchi・Norio Okada
- 10:50 E15. The spatio-temporal predictions of rainfall-sediment-runoff based on physically process model  
Apip・○Kaoru Takara・Takahiro Sayama・Yasuto Tachikawa
- 11:05 E16. Shaking table tests on cluttered levels of typical medicine shelves and contents subjected to earthquakes  
○郭 耕杖・鈴木祥之・桂木聡子

## 一 般 講 演

### 地震・火山(Ⅲ)

#### A会場〔第1会議室〕

- 14:00 A22. レシーバ関数解析による西南日本におけるモホ不連続面とフィリピン海スラブの形状の推定と地震の関係  
○上野友岳・澁谷拓郎・伊藤 潔
- 14:15 A23. 山崎断層の地殻活動について  
渡辺邦彦
- 14:30 A24. 徳島県北東部の微小地震活動 97.10～06.12  
○許斐 直・松村一男・近藤和男
- 14:45 A25. 2000年鳥取県西部地震域における応力場の推定  
○川西里枝・飯尾能久・行竹洋平・澁谷拓郎・片尾 浩
- 15:00 A26. 日本海鳥取沖で実施した海底地磁気電位差観測の概要  
○大志万直人・藤 浩明・笠谷貴史・吉村令慧・下泉政志  
新貝雅文・塩崎一郎・中尾節郎・片尾 浩
- 15:15 ( 休 憩 )
- 15:30 A27. 跡津川断層周辺での稠密臨時微小地震観測  
○和田博夫・伊藤 潔・大見士朗・平野憲雄
- 15:45 A28. 3つの内陸大地震  
飯尾能久
- 16:00 A29. 地殻変動連続観測記録のノイズレベルと地球ダイナミクスへの意義  
○川崎一朗・森井 互・石川有三・坪川恒也  
大久保慎人・石井 紘・今西祐一
- 16:15 A30. 地殻変動連続観測に及ぼす温度の影響について  
○寺石真弘・大谷文夫・園田保美
- 16:30 A31. 逢坂山観測所における異なるタイプのひずみ計による比較観測  
○尾上謙介・石井 紘・森井 互・松尾成光  
細 善信・高橋輝雄・松本滋夫
- 16:45 A32. まだまだ続くスマトラ地震の余効変動  
○橋本 学・橋爪道男・Nithiwatthn Choosakul・瀧口博士  
竹本修三・福田洋一・藤森邦夫・里村幹夫・伍 培明  
大塚雄一・丸山 隆・斉藤 享・加藤照之

# 一 般 講 演

## 地震・火山 (IV)

### B会場〔第1・2セミナー室〕

- 14:00 B21. 大振幅水平載荷実験による群杭・地盤系の非線形挙動  
○柏 尚稔・倉田高志・勝二理智・林 康裕・田村修次・吹田啓一郎
- 14:15 B22. 高度成長期に建設された超高層建物の柱梁接合部実大実験  
○吹田啓一郎・山田祥平・北村有希子
- 14:30 B23. Hybrid on-line test on simulation of steel moment-frames subjected to extremely large ground motions  
○Wang Tao・Nobuya Yoshitake・Jason McCormick・Peng Pan  
Yosuke Murata・Masayoshi Nakashima
- 14:45 B24. Hysteretic behavior of shallow-embedded steel column bases with varying axial force  
○Yao Cui・Ryota Yamamoto・Tomomi Uemura・Masayoshi Nakashima
- 15:00 B25. 軽量鉄骨下地間仕切壁に囲まれた鋼製下地天井の大変形振動台実験  
○松岡祐一・Jason McCormick・潘 鵬・中島正愛
- 15:15 B26. 柱脚復元力の劣化に誘発される鋼構造骨組崩壊挙動の再現  
○中島正愛・吉竹宣也・Wang Tao・村田庸介  
Jason McCormick・Pan Peng
- 15:30 ( 休 憩 )
- 15:45 B27. 摩擦型パッシブ負剛性デバイスの開発と振動台実験による検証  
○豊岡亮洋・家村浩和・河内山修
- 16:00 B28. 柔な水平構面を有する伝統木造建物の地震応答評価と実大振動台実験による検証  
○向坊恭介・鈴木祥之・山田耕司・松本慎也  
川上沢馬・岡村雅克
- 16:15 B29. 軸組構法2階建木造住宅の振動台実験に基づく損傷同定手法の検討  
○具 典淑・林 康裕・清水秀丸・鈴木祥之
- 16:45 B30. 実大振動台実験における伝統構法木造建物の動力学特性と耐震性能  
○鈴木祥之・向坊恭介・斎藤幸雄・後藤正美・清水秀丸・中村いずみ
- 17:00 B31. 寺院建築物における伝統木造軸組の構造力学特性のモデル化による骨組解析  
○前野将輝・鈴木祥之・松本慎也

# 一 般 講 演

## 地 盤 (Ⅱ)

### C会場〔第3セミナー室〕

- 14:00 C19. リングせん断試験機を用いた砂質土のせん断破壊前の加速度的変形に関する研究  
○南谷太一・佐々恭二・汪 發武・福岡 浩
- 14:15 C20. Effect of static shear on cyclic shear resistance of saturated silty soils  
○Jozef Jurko・Kyoji Sassa・Hiroshi Fukuoka
- 14:30 C21. 新潟県中越地震による斜面被害の要因について  
○北田奈緒子・井上直人・吉村 貢・三村 衛・大塚 悟・村上貴志
- 14:45 C22. 奈良県カヅマヤマ古墳における地すべり  
○釜井俊孝・寒川 旭
- 15:00 C23. 尼谷地地すべりの残留強度特性  
○斉藤龍太・王 功輝・末峯 章・佐々恭二・福岡 浩
- 15:15 C24. 地盤地震工学の歩みと今後の展望  
○井合 進・飛田哲男
- 15:30 ( 休 憩 )
- 15:45 C25. 泉州沖更新統層における中間砂礫層の透水能と海上空港建設による長期沈下について  
○三村 衛・池田侑哉
- 16:00 C26. 地盤の相対密度が基礎根入れ部に作用する土圧と摩擦力に及ぼす影響  
○田村修次・今吉 毅・坂本 忠
- 16:15 C27. 二次元土槽実験による高圧噴射攪拌工法メカニズムの解明  
○乾 徹・Heng Ji・曾我健一
- 16:30 C28. 焼却灰による海面埋立地の重金属の安定性について  
○嘉門雅史・Hermelinda Plata・勝見 武  
宮崎 匠・大矢好洋・乾 徹
- 16:45 C29. Evaluation of LNAPL migration under fluctuating groundwater by image analysis  
○勝見 武・Giancarlo Flores・嘉門雅史

## 一 般 講 演

### 大気・水 (IV)

#### D会場〔中会議室〕

- 14:00 D20. 都市域とその周辺における大気微量成分濃度とその変動 (VI)  
○岩嶋樹也・森山 茂
- 14:15 D21. 熱帯域における季節内振動の予測可能性評価 (2)  
－初期摂動の力学的特徴－  
○谷口 博・近本喜光・向川 均・久保田拓志  
佐藤 均・伊藤 明・前田修平
- 14:30 D22. 成層圏突然昇温現象発生期における成層圏－対流圏結合の予測可能性に関する  
数値実験  
○向川 均・廣岡俊彦・黒田友二
- 14:45 D23. 成層圏周極渦変動とその予測可能性に関する数値実験  
○余田成男・仲本康浩・伊藤耕介
- 15:00 D24. 大気中二酸化炭素収支の年々変動に関する数値モデルを用いたシミュレーション  
による研究  
○井口敬雄・木田秀次
- 15:15 ( 休 憩 )
- 15:30 D25. 中立に近い安定度の対流境界層における乱流構造の観測  
－解析のまとめ－  
○堀口光章・林 泰一・植田洋匡
- 15:45 D26. 竜巻発生時の環境パラメーター  
○石川裕彦・山根悠介・佐藤和歌子
- 16:00 D27. 竜巻通過時に構造物に作用する風力について  
河井宏允
- 16:15 D28. 建築物の耐風設計における重要度係数導入の提案  
○西村宏昭・河井宏允
- 16:30 D29. 台風0613号による強風被害について  
○丸山 敬・河井宏允・石川裕彦・林 泰一・加茂正人



## 一 般 講 演

### 総合防災 (Ⅲ)

#### E会場〔視聴覚研修室〕

- 14:00 E17. 生命体システムモデルの災害リスクマネジメントへの適用可能性  
岡田憲夫
- 14:15 E18. The process of community's coping capacity development in the Sumida Ward,  
Tokyo - a case study of rainfall recycling movement  
○Subhajyoti Samaddar・Norio Okada
- 14:30 E19. 直交異方性木材の弾塑性めり込み挙動  
○棚橋秀光・岡村雅克・鈴木祥之
- 14:45 E20. 木造建築物のはしご型フレーム耐震要素の構造メカニズムと耐震性能  
○岡村雅克・鈴木祥之・棚橋秀光
- 15:00 ( 休 憩 )
- 15:15 E21. Recovering: values and approaches from New York after 9 / 11  
David Mammen
- 15:30 E22. インド洋大津波からの復興プロセス  
－バンダアチェ市の復興を事例として－  
牧 紀男
- 15:45 E23. 被災途上国の復旧・復興過程に資する外助の課題  
○阪本真由美・河田恵昭
- 16:00 E24. 中国における小額信用貸付と農地の経営権の流動化が災害リスクファイナンに  
与える影響に関する一考察  
○横松宗太・Yu Wei-Bin・岡田憲夫
- 16:15 E25. Improving micro-credit system in the rural areas of China with credit insurance  
○Yu Wei-Bin・Muneta Yokomatsu・Norio Okada

## ポスターセッション

A・B・C会議室 9:00-17:00

発表 11:30-14:00

- P01. 諏訪之瀬島火山における火山噴煙組成観測  
篠原宏志
- P02. Focal mechanism of volcano-tectonic earthquakes at Guntur Volcano, Indonesia  
○Nurlia Sadikin・Masato Iguchi
- P03. 空振観測から見た桜島・諏訪之瀬島の爆発的噴火  
○綿田辰吾・及川 純・為栗 健・井口正人
- P04. 諏訪之瀬島火山1884年溶岩の示す磁気岩石学的特徴  
○齋藤武士・井口正人・石川尚人・鳥居雅之・大倉敬宏
- P05. ビデオ解析で明らかになった阿蘇火山中岳火口における噴湯現象の短周期変動  
○鍵山恒臣・田中良和・池辺伸一郎
- P06. 北陸観測所30年間の地震観測  
○竹内文朗・澁谷拓郎・平野憲雄・和田博夫・渡辺邦彦  
松村一男・西上欽也・大谷文夫・岡本拓夫
- P07. 高知県黒潮町佐賀における海水・淡水境界面の観測  
○浅田照行・梅田康弘・辰己賢一・重富國宏  
木村昌三・川谷和夫・大村 誠
- P08. 御嶽山およびその周辺群発地震発生域の自然電位異常  
○吉村令慧・山崎健一・岡田靖章・大志万直人
- P09. 大大特：近畿地方における地下構造調査のための自然地震観測  
○西村和浩・中尾節郎・三浦 勉・辰己賢一・平野憲雄・山崎友也・福嶋麻沙代  
加茂正人・森麻衣子・富阪和秀・米田 格・川井久美子・吉田義則  
細 善信・松浦秀起・澁谷拓郎・伊藤 潔・片尾 浩・大見士朗  
廣瀬一聖・森下可奈子・中尾愛子
- P10. 宮崎観測所における絶対重力観測  
○孫 文科・大久保修平・松本滋夫・寺石眞弘  
大志万直人・園田保美・大谷文夫
- P11. 北陸・近畿・中国における全磁力永年変化(4)  
○山崎健一・吉村令慧・大志万直人
- P12. 大大特：丹波山地直下の地殻深部反射面の探査  
○片尾 浩・伊藤 潔・中尾節郎・廣瀬一聖・西村和浩・福嶋麻沙代

平成19年3月6日(火)

- P13. 近畿地方とその周辺における地殻変動連続観測（その1）  
○森井 互・尾上謙介・中村佳重郎・大谷文夫・竹内文朗  
渡辺邦彦・細 善信・和田安男
- P14. 九州東南部における地殻変動連続観測  
○園田保美・寺石眞弘・大谷文夫・大志万直人
- P15. 近畿地方とその周辺における地殻変動連続観測（その2）  
○和田安男・森井 互・尾上謙介・中村佳重郎・大谷文夫  
渡辺邦彦・竹内文朗・細 善信
- P16. 橋梁システムの日米分散ハイブリッド地震応答実験  
高橋良和
- P17. 中国地方における地殻内反射体の分布  
○土井一生・西上欽也
- P18. 人工地震を用いた地殻構造探査による近畿地方のP波速度構造  
○廣瀬一聖・伊藤 潔
- P19. 福井県嶺北地方における地震の発生特性  
岡本拓夫・○平野憲雄・和田博夫・竹内文朗・西上欽也・渡辺邦彦
- P20. 確率的手法によるランダム不均質媒質中の地震波伝播経路の推定  
宮澤理稔
- P21. 稠密地震観測データを用いた長野県西部地域の地震波速度構造  
○野田俊太・飯尾能久・関口渉次・高井香里・堀内茂木
- P22. 深部掘削坑における高分解能温度検層データの処理・解析法の研究  
松林 修・○加納靖之・James Mori・伊藤久男
- P23. 断層破壊伝播効果を導入した経験的強震動評価の試み  
香川敬生
- P24. 微動観測に基づく静岡市清水の地震基盤構造の推定  
○新井 洋・野津 厚
- P25. 長周期地震動シミュレーションによる大阪堆積盆地構造モデルの検証  
○岩城麻子・岩田知孝
- P26. 大規模堆積盆地における東南海・南海地震の広帯域強震動予測  
○川辺秀憲・釜江克宏
- P27. 力学震源インバージョンに対する推定変数の感度分析  
○後藤浩之・澤田純男
- P28. 微小地震観測データのデータベース化とその検索システムの製作  
大見士朗
- P29. 摩擦減衰機構を持つ集合柱の耐震性能  
○澤田純男・西郡一雅・高橋良和

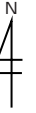
平成 19 年 3 月 6 日(火)

- P30. 高速道路走行中の自動車の地震時安定性について  
○清野純史・藤井俊介・Charles Scawthorn
- P31. 地震による土砂災害への一提言  
末峯 章
- P32. 世界地すべりデータベースと Landslides ジャーナルデータベースの開発  
佐々恭二・○福岡 浩
- P33. 新潟県中越地震における斜面被害の要因に関する調査報告 ～平成 18 年度～  
○大塚 悟・北田奈緒子・井上直人・吉村 貢・三村 衛・村上貴志
- P34. 京大宇治構内に設置されたボアホール地震アレイ記録を用いた京都盆地の地盤震動特性  
○白川智香子・岩田知孝
- P35. 斜面崩壊特性に及ぼす土質の影響  
○堤 大三・林雄二郎・藤田正治
- P36. 高原川流域における凍結融解による土砂生産の確率的評価  
○手島宏之・藤田正治・堤 大三・澤田豊明
- P37. Study on landslide dam failure  
○Ripendra Awal・Hajime Nakagawa・Yasuyuki Baba  
Raj Hari Sharma・Naoki Ito
- P38. Classification of grain size distribution curves of bed material and the porosity  
○Muhammad Sulaiman・Daizo Tsutsumi・Masaharu Fujita・Kunihiko Hayashi
- P39. 千代川における砂州上の植生管理に関する研究  
○藤田正治・広重敬嗣・檜谷 治・梶川勇樹
- P40. NDVI時系列解析を用いた北タイメーワン流域における高分解能作物分類とその検証  
○萬 和明・田中賢治・中北英一・池淵周一
- P41. Morphodynamics of channels with groins and its application in river restoration  
○Hao Zhang・Hajime Nakagawa・Yasunori Muto・Yoshio Muramoto  
Daizaburou Touchi・Yasunori Nanbu
- P42. 河川のネットワーク配信画像を用いた水理・気象条件と河川表面パターンの関連性の検討  
○藤田一郎・椿 涼太・小勝負由衣・武藤裕則・馬場康之
- P43. 自動水質計観測結果を用いた河川水質評価の可能性  
○城戸由能・福田勝之・中北英一
- P44. 京都市域における水害時の道路交通障害に関する研究  
○深草 新・戸田圭一・宇野伸宏
- P45. 地下浸水発生時の避難および救援活動に関する考察  
○馬場康之・石垣泰輔・戸田圭一・中川 一・川池健司・吉田義則・多河英雄

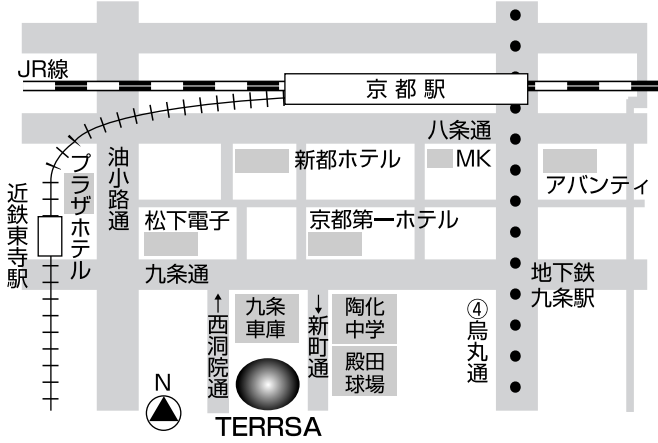
平成19年3月6日(火)

- P46. ニューラルネットワークを用いた大阪湾内のリアルタイム津波予測  
○間瀬 肇・加次淳一郎・安田誠宏・高山知司
- P47. 混合粒径砂を用いたリップルの形成と分級過程：造波水槽実験  
○Naofumi Yamaguchi・Hideo Sekiguchi
- P48. 水災害危険度が地価に及ぼす影響について  
○市川 温・西澤諒亮・寺本雅子・沼間雄介・堀 智晴・椎葉充晴
- P49. Simplified flood inundation model integrating with rainfall-runoff processes  
○Nanshan Zheng・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P50. バイアス補正を考慮するカルマンフィルターを導入した実時間流出予測  
○立川康人・佐山敬洋・平田智行・寶 馨
- P51. Analysis of hydrologic behaviors under equifinality  
○Giha Lee・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P52. Transformation of point rainfall to areal rainfall by estimating areal reduction factors:  
scaling approach  
○Minh Nhat Le・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P53. Improving Qqantile estimates of the Neyman-Scott rainfall model  
○Carlo A. Mondonedo・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P54. 広域分布型流出予測システムと動的計画法による超過洪水時のダム群操作に関する  
研究  
○佐山敬洋・菅野浩樹・立川康人・寶 馨
- P55. Suitability of sample size for identifying distribution function in regional frequency analysis  
○Binaya Kumar Mishra・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P56. Extending a distributed hydrological model to use globally available topographic data  
○Pb. Hunukumbura・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P57. 貯水池における植物プランクトンの出現とアオコ回収作業の時間的關係に関する研究  
○牧野育代・寶 馨・立川康人
- P58. Recent flood disasters in Korea and Japan: similarity and dissimilarity in hydrologic and  
social aspects  
○Sunmin Kim・Yasuto Tachikawa・Kaoru Takara
- P59. 中・高生の学校における防災学習に対する意識  
○城下英行・河田恵昭
- P60. 過疎地域における社会環境リスクと定住意向に関する考察  
○谷本圭志・森 健治・新宅基紀・萩原良巳

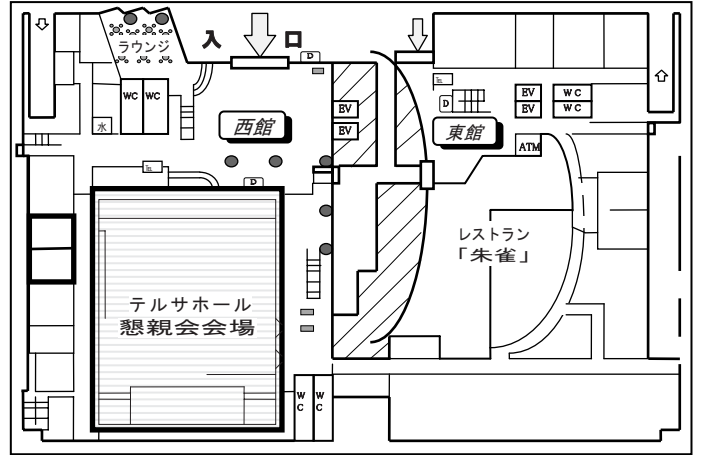
# 会場案内図



会場地図



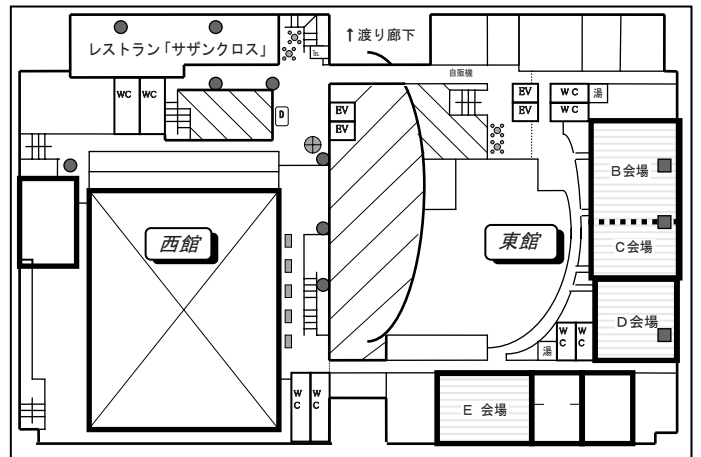
京都テルサ1階



交通のご案内

- ・ JR京都駅(八条口)より南へ徒歩約10分
- ・ 近鉄東寺駅より東へ徒歩約5分
- ・ 地下鉄九条駅④番出口より西へ徒歩約5分
- ・ 市バス九条車庫南へすぐ

京都テルサ2階



京都テルサ3階

